

オプション(別売)

巻上シュート

コンテナ専用「巻上シュート」は落差を最小にし、イモの傷・打撲を軽減します。



① シュートを袋にし、落差を最小にしながら排出。

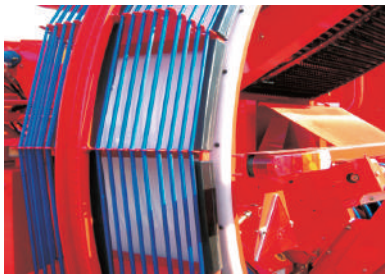


② 袋を徐々に下げ、シュートの下部を解放しコンテナへ排出。



③ コンテナがいっぱいになったら、シュート枠を上げ排出。

※写真の機械はTPH7Uとなります



※写真の機械はTPH7Uとなります

案内板ボルガ

案内板への土の付着軽減によりイモのスリ傷が低減します。



ニンジン用掘取り刃

ニンジンの収穫には、別売りアタッチ「ニンジン用掘取り刃」を掘取部に装着します。予め茎葉をチョッパ等により処理したニンジン収穫します。

主要諸元

型 式	TPH55HV26
規 格	1畦(種子・食用・加工用)
形 式	牽引式・タンカー形
全 長	6540mm
全 幅	3000mm(作業時5100mm)
全 高	3100mm(作業時2800mm)
質 量	2810kg
適 応 ト ラ ク タ	41~74kW(55~100PS)
装 着 方 法	リンケージドロワー JIS D6705 2形相当
掘取部	畦 数
	掘 取 刃
	コ ー ル タ
	リ ー ド ロ ー ラ
掘取り深さの調節	
茎 葉 処 理 方 式	
メインタンク	容 量 ・ 形 式
	最大 排 出 高 さ
小玉タンク	シ ュ ー ト
	別 売 (油圧巻上シュート)
くず芋タンク	容 量 ・ 形 式
	最大 排 出 高 さ
走行部	容 量 ・ 形 式
	0.45m ³ (4.5俵) 油圧ダンプ式
	2.2m
作業性能	タイ ヤ サ イ ズ
	9.00-20 10PR
作業性能	輪 距
	198※・207・216・225・240・255cm(スライド式) 畦3本またぎ
	舵 取 装 置
	油圧式パワーステアリング
作業性能	作 業 速 度
	1.4~2.9km/h
作業性能	作 業 能 率
	8.6~17.7a/h(畦幅72cm、効率85%として。作業条件により異なります。)
作業性能	バ ッ ク ブ ザ ー
	標準装備

※198で使用する際はステアリングシリンダの交換が必要になります。

●本仕様は改良・その他により予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

●掲載の写真は最新ではない場合がございます。

ホームページ <http://www.toyonoki.co.jp>

農作業の安全は東洋農機の願いです。

わたくしたちは アグリパートナーです。



東洋農機株式会社 〒080-2462 帯広市西22条北1丁目2番5号
TEL0155-37-3191・FAX0155-37-5399

小清水営業所 〒099-3641 斜里郡小清水町字小清水本町1丁目13-11 TEL(0152)62-2309
美幌営業所 〒092-0027 網走郡美幌町字稲美220-14 TEL(0152)73-4158
美瑛営業所 〒071-0215 上川郡美瑛町扇町232番地 TEL(0166)92-1368
三川営業所 〒069-1144 夕張郡由仁町本三川674 TEL(0123)86-2436
倶知安営業所 〒044-0077 虻田郡倶知安町字比羅夫60-1 TEL(0136)22-2236

①R7.10(500)

TPH55

POTATO HARVESTER



コンベヤ間の落差を減少！ 中型メインタンク搭載の軽量タイプ！

軽量・コンパクトで機動性が高く、傾斜地・軟弱地で扱いやすい

広い選別ステージと3段階粗選別機構を搭載し、高品質な馬鈴薯収穫に大きな力を発揮します。

操作レバー



機体最前部には各部操作レバーを配置。各部の操作は全て油圧制御で、トラクタ運転席から後ろに手を伸ばすことで簡単に操作が出来る配置になっています。

パワーステアリング



油圧式パワーステアリングにより枕地の回行性、傾斜地・不整地での作業性が良く、作業効率を向上させます。
また、輪距は198・207・216・225・240・255cmと調整範囲が広く、多様な畦幅に対応します。

リードローラ



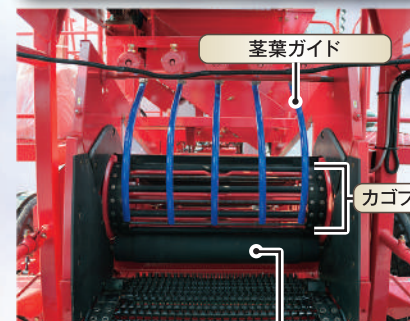
リードローラは深型を装備しています。リードローラは掘取り深さを一定に保ち、畦の起伏に沿った自動高低掘取りが可能です。
そのため馬鈴薯・甘藷の損傷や掘残しが少なく、最初に掘取り深さを設定したら状況が変化しない限り、掘取り深さを気にしないで作業することが出来ます。

第1コンベヤ



馬鈴薯の転がりや飛跳ねを抑えるため、第1コンベヤにはヒレ付ロッドが装備され、コンベヤの角度も緩く設計されています。
また、コンベヤの側板には土が付着しづらいポリガボードが装着されており、馬鈴薯の擦れやコンベヤベルトの磨耗防止に効果を発揮します。

スナッピングローラ



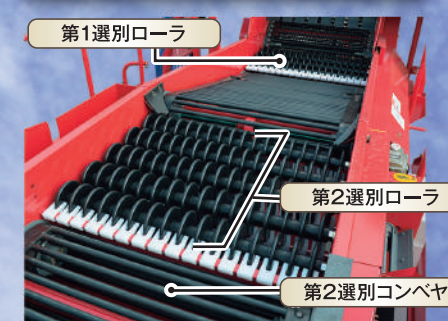
最初に大きな茎葉は茎葉ガイドで第1コンベヤ最後のカゴブリーとスナッピングローラの間に導かれ、コンベヤ下へと挟み出されます。

ロータリーバケット



馬鈴薯と残った茎葉、土砂等はロータリーバケットによってハーベスタ上部へと送られます。ロータリーバケット搬送中に細かい土砂は分離され、圃場へと落下します。
ロータリーバケットによって馬鈴薯と一緒に上がってきた小さな茎葉は逆回転のヘッジホッククロスコンベヤによって後方へ排出され、大方の茎葉は取り除かれます。

選別コンベヤ



選別コンベヤ部は広いステージを有し、4名の作業員が楽々と選別作業を行います。
選別コンベヤでは最初に、第1選別ローラによって土砂が分離され、分離された土砂は第1コンベヤ上へと落下します。続いて第2選別ローラによって馬鈴薯は製品・小玉・小玉規格以下の3段階に自動的に分離され、最後の第2選別コンベヤ上で人の手によって最終選別が行われます。

くず芋タンク



第2選別ローラにより落下した小玉規格以下のイモはくずタンク(0.45m³)に貯留されます。

小玉タンク



第2選別ローラより落下した小玉は小玉タンク(0.2m³)に貯留されます。タンクからの排出は、手動でタンク底のダンパを開いてコンテナ・バックへ移動させます。

メインタンク



製品馬鈴薯は最終的に、製品タンク(2.2m³)に貯留されます。馬鈴薯が製品タンクに落下する際、選別コンベヤ先端のウルトラシュートによって落差は最小限に抑えられ、馬鈴薯の損傷が抑えられます。馬鈴薯の排出は油圧モーターで製品タンク底のアンローディングコンベヤを回転させることで行います。

